

れいめい

令和5年5月13日
第35号

鹿児島県立伊集院高校
関東地区同窓会会報
発行人
久保正和
東京都武蔵野市関前
3-22-12-202

ご挨拶

関東地区同窓会会長

東福清徳

(高19期・昭和42年卒)



令和5年、会員の皆様には
ご健勝にてご活躍のこととお
喜び申し上げます。

さて昨年度令和4年の「同窓の集い」は、ウィズコロナ、少し強引とは思いましたが3年振りに開催、コロナ禍にも関わらず38名の仲間が参集し盛会でした。このような状況下、本年度も多くの会員の皆様から賛助金を拠出いただき

有難うございました。この浄財は関東地区同窓会の活動資金として有効に活用させていただきます。改めて皆様方のお心遣いに感謝厚く御礼申し上げますとともに、ご芳名を本会報にてご紹介(4面)させていただきます。

支部並びに伊高関東同窓会の発足から現在に至るまでの同窓会の歩み(歴史)について特集しました。

それによりまず、関東地区同窓会は発足当初の関東支部から通算して約70年を経過しております。昭和51年、現在の「伊高関東同窓会」が発足、翌年(昭和52年)第1回伊高関東同窓会が開催され、現在に至っております。本会発足後47年経過しておりますが、コロナ禍で2年間開催できなかつたので本年度は第45回目の開催となります。その他、会報の発行、講演会の開催、レクレーションの開催等々、70年間の歩みについて触れましたのでご熟読いただき

ければ幸甚に存じます。ところで新型コロナウイルスについては、第8波の到来と一時はどうなるかと思われましたが、ここきてやっと終息の兆しがみえ、本年度の「同窓の集い」は予定通り行うことができました。また例年行っている講演会並びに地元特産品の販売も予定通り行います。講演会の講師は、27歳で起業、30年間経営者として活躍されている神野一則(高37期)氏をお願いしました。コロナ禍をどう生き抜いたか等、大変興味深い話が伺えるものと思います。

なお、この度長年慣れ親しんだ中野サンプラザが閉館になることから、新しい会場探しに手間取り、例年とは違い7月1日(土)、場所も四ツ谷の「主婦会館プラザエフ」で行うことになりました。当方の不手際をお詫言しますとともに、ご家族・ご友人お誘いあわせの上、是非ご出席いただきますようお願い申し上げます。

最後に会員の皆様のご健康と益々のご活躍を祈念しましてご挨拶いたします。

伊集院高等学校は、創立100周年記念式典および創立100周年記念祝賀会を令和6年11月2日(土)に開催する予定です。その他の記念行事としては、創立100周年記念の体育祭や文化祭をはじめ、同窓生の中から講師を招いての創立100周年記念講演会や、同窓生が現在の伊集院高校生に授業を行う創立100周年記念徳重塾などを企画しています。関東地区の皆さまにも遠路ではございますが、是非参加していただきたいと考えております。

また、創立100周年記念事業を成功させるために、昨年12月に募金活動を開始いたしました。関東地区の皆さまにも募金の趣意書が届いていると思います。創立70周年記念事業として設立した教育振興基金は、現在2,500万円の基金ですが、この創立100周年を記念して1億円まで増資して、新世紀の伊集院高校生の活躍を援助できる施設の建設や、機器の充実などの支援に役立てていきたいと考えております。今のところ目標とする7,500万円には遠く及ばない状況です。関東地区の皆さまにも、今一度お手元の「募金趣意書」をご確認いただき、募金の御協力をお願いいたします。

一方、同窓生の皆さまの関係する企業や団体・個人からの募金や、創立100周年

ごあいさつ

伊集院高等学校
同窓会会長 宮路

高光(高21期)



鹿兒島では例年にも増して暖かい4月を迎え、花見を楽しむ人々の賑わいも加わり、桜も普段より華やかに、そして盛りの時期も長く感じられます。伊集院高等学校関東地区同窓会の皆様におかれましては、御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より同窓会の活動に御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

いよいよ来年は、母校伊集院高校の創立100周年を迎えます。一昨年度より創立

100周年記念実行委員会を立ち上げ、高校やPTAにも御協力を頂きながら準備を進めております。現在、創立100周年記念式典および創立100周年記念祝賀会を令和6年11月2日(土)に開催する予定です。その他の記念行事としては、創立100周年記念の体育祭や文化祭をはじめ、同窓生の中から講師を招いての創立100周年記念講演会や、同窓生が現在の伊集院高校生に授業を行う創立100周年記念徳重塾などを企画しています。関東地区の皆さまにも遠路ではございますが、是非参加していただきたいと考えております。

また、創立100周年記念事業を成功させるために、昨年12月に募金活動を開始いたしました。関東地区の皆さまにも募金の趣意書が届いていると思います。創立70周年記念事業として設立した教育振興基金は、現在2,500万円の基金ですが、この創立100周年を記念して1億円まで増資して、新世紀の伊集院高校生の活躍を援助できる施設の建設や、機器の充実などの支援に役立てていきたいと考えております。今のところ目標とする7,500万円には遠く及ばない状況です。関東地区の皆さまにも、今一度お手元の「募金趣意書」をご確認いただき、募金の御協力をお願いいたします。

一方、同窓生の皆さまの関係する企業や団体・個人からの募金や、創立100周年

ごあいさつ

校長 濱島 幸治



伊集院高等学校関東同窓会の皆様には、益々御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃から母校の教育活動に御理解・御協力を賜り心から御礼申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症も五月には季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられます。この四年間感染症拡大防止のために、生徒の皆さんには多くの無理なお願いをしてきました。特に、今春卒業した百八十九名の生徒には、高校生活の楽しい一ページである修学旅行も中止となるなど、多くの我慢をお願いしました。卒業式の式辞に卒業生へ次のようなメッセージを贈りました。

「人は困難を乗り越えるほどに成長します。伊高生はこれまでの長い歩みの中で自律・

忍耐・友愛・公德の旗を掲げつつその時々直面する様々な壁を乗り越えてきました。そして皆さんも、このやるせない現実をありのままに受け留め、与えられた環境に、創意と工夫を重ねながら互いに切磋琢磨する日々を送ってきたことと思います。

今ここに晴れて卒業の日を迎え、凛と前を向く皆さんの姿からは、思うに任せぬ日々を共にくぐり抜けてきたからこそそのすがすがしさを感じることが出来ます。」

来年本校は創立百周年を迎えます。まさに本校は大きな転換期を迎えていると感じています。この四月、百七十六名の新入生を迎えます。残念なことにも今年も定員を大きく下回りました。日置地区の伝統ある進学校である本校が、今後地域への期待を背負う学校であり続けるためには大きく変化する必要があります。考えています。伊高3K(気つき・考え・行動する)を柱に、今年度から次のようなことに取り組んで参ります。定期考査

第45回 伊集院高校関東地区「同窓の集い」のご案内

同窓生の皆さんへ

同窓生の皆様には、清祥にてお過ごしのことと思います。「同窓の集い」は、コロナ禍の中、令和2年度、3年度は中止、昨年度は、着座形式で開催しましたが、コロナも落ち着き本年度は通常の形式で開催する予定です。ご友人・ご家族お誘い合わせのうえ、ご出席下さいませ。また、ご案内申し上げます。本会は例年6月の第3土曜日に開催して参りましたが、ご承知のように長年慣れ親しんだ中野サンプラザが閉館になることから、会場探しに手間取り、(特例として)7月1日(土)に四ツ谷の「主婦会館プラザエフ」で開催することになりました。皆様にはご迷惑をおかけしますが、くれぐれも場所(日)にちを間違わないようお願いいたします。

なお、お手数ですが準備の都合上、出欠のご返信は(住所、氏名、卒業年度、期を明記の上)6月19日(月)までお願いいたします。またマスクの着用は、自由でございます。

同窓会運営への協力をお願い

同窓会の運営は、活動面では役員・幹事のボランティア活動により、資金面では皆様方の賛助金(寄付金)によ

り支えられております。誠に恐縮ですが会報「黎明」の発行、「同窓の集い」案内状の発送等、同窓会の活動・運営のために、寄付いただければ幸甚と存じます。

◎一口 1,000円以上
◎郵便局窓口で同封の振込用紙をご使用頂くか、ATM等で次の口座にお振込みをお願いいたします。

金融機関名 ゆうちょ銀行
支店名 〇一九(ゼロイチキュウ)
預金科目 当座
口座番号 05010001
受取人名 関東伊集院高校同窓会
(カントウイシュウインコウコウド
ウソウカイ)

また、同窓会幹事への若い方の参加もぜひお願い致します。ご協力頂ける方は左記事務局宛にご二報下さい。

〒306-0004
埼玉県ふじみ野市上福岡
1-4-13 11113
有村雅文(幹事長・高20期)
049(263)7341

一日時 7月1日(土) 11時30分
受付開始11時

二 場所 主婦会館プラザエフ
三 交通 JR中央・総武線 四ツ谷駅 麹町口から徒歩1分
丸の内線 四ツ谷駅 1番出口から徒歩3分
南北線 四ツ谷駅 3番出口から徒歩3分

四 会費 男性七,000円、女性五,000円
高60期(平成20年卒)以降三,000円
同伴者(二名で一〇,000円)、お子様は無料。
学生は無料です。
(当日会場にて、徴収いたします。)

次に部活動状況です。九州大会以上の上位大会に出場した部活動は、剣道部の川内颯真さんが、全九州高等学校総

記念新聞に掲載する広告も募集しております。関東支部同窓会の皆さまの幅広いつながりを募金活動に活かして、記念事業の成功につなげていきたいと考えます。募金や広告掲載をしていただける企業や団体・個人があらましたら、同窓会本部あるいは関東支部役員の方々にお知らせください。最後になりますが、コロナの影響で3年間中止していた同窓会総会を、今年は8月19日(土)に城山ホテル鹿児島で開催します。コロナ感染防止対策を万全にして、安心して参加できる同窓会総会になるよう準備を進めております。創立100周年に向け同窓会活動の一層の充実を図り、会員相互の連携と交流を更に深めるとともに、関東地区同窓会の皆様と益々御活躍されることを祈念申し上げて、挨拶いたします。

伊集院高校関東地区同窓会の歩み

関東地区同窓会 会長 東福清徳

コロナ禍で会報「黎明」は昨年度、一昨年度と過去2年間紙面を縮小(4面→2面)して発行しましたが、本年度よりまた元の4面に戻して発行することにしました。例年であれば、2面は講演録を掲載するのが定番でしたが、本年度は表題の「伊集院高校関東地区同窓会の歩み」(以降、伊高関東同窓会と称す)と題して、別表「伊高関東同窓会の歩み」に則って、現在までの歴史を想起してみたいと思います。

I. 関東支部の発足

伊高関東同窓会発足は、昭和27年(1952年)関東支部として発足したのが始まりとされております。従って現在まで約70年の歴史ということになります。

ただそれから昭和45年第1回関東支部総会が開かれるまでの十数年間は一部有志による活動が中心で、日帰り旅行や新年会・忘年会を兼ねての集まりが主だったようです。

1. 第1回支部総会の開催

昭和45年国分修(高1期)氏を支部長として、関東地区として初めて同窓会(支部総会)を開催しました。

2. 第2回 第3回支部総会の開催

昭和46年、昭和47年と開催。この時の参加者はそれぞれ171名、176名とその後、の総会を含めて最高を記録。

本部同窓会開催案内

本部同窓会につきましては、コロナ禍で令和2年度、3年度、4年度と3年間中止となっておりましたが、本年度は左記に拠り4年ぶりに開催されることになりました。

開催日

令和5年8月19日(土)

場所

市内「城山観光ホテル」

●幹事期 32期(昭和55年卒) 33期(昭和56年卒)、34期(昭和57年卒)

幹事当番期の方は、追って案内があるかと思いますが、積極的に参加願います。

緑。今から約50年前、現在の参加者が70、80名ということ

を考慮すると、実に信じ難い、驚くべき数字と言わざるを得ません。

II. 伊高関東同窓会の発足

昭和51年 東京支部を「伊高関東同窓会」と改名、初代会長に柿内正憲(旧中2期)氏が就任し現在に至ります。

1. 伊高関東同窓会の定例開催

昭和52年 第1回伊高関東同窓会を開催(本総会は毎年6月の第3土曜日開催)、以降、平成、令和と第43回まで毎年開催しております。

その間、平成7年度以降「伊高関東同窓会」を「同窓の集い」と改称現在に至ります。

その後、コロナ禍で令和2年度、3年度は、中止しましたが、令和4年度以降復活しております。

2. 歴代会長の変遷

本会発足後、現在まで左記8人の方が会長に就任されております。

- 第1代 柿内正憲氏(昭和51年 旧中2期)
- 第2代 家村 勇氏(昭和55年 旧中13期)
- 第3代 宮田 榮氏(昭和61年 旧中19期)
- 第4代 定栄洲弘氏(平成2年 高2期)
- 第5代 中馬三郎氏(平成6年 高6期)
- 第6代 武石道男氏(平成12年 高3期)

●第7代 山下佐明氏(平成16年 高10期)

●第8代 東福清徳氏(平成30年 高19期)

なお、現在まで第6代会長の武石氏まで6人の会長が逝去されております。

3. 伊高関東同窓会の最大の功労者

伊高関東同窓会を語るうえで、忘れてならない人が2人います。いずれも草創期の礎を築いた方で、一人は初代支部長の国分修(高1期)氏、もう一人は約50年にわたってその活動を支えて来られた豊島鐵山(高8期)氏です。特に豊島氏は、回顧録で同窓会活動の裏で多くの苦勞や犠牲を伴ったことをいくつか述べておられますので、その一端をご紹介します。

●会則 沿革史、名簿の作成

当時同窓会(支部)発足当初は規約も無ければ名簿もガリ版刷り位で無からのスタートに等しく、先輩の助言を得てこれらの作成を一人で行った。

●同窓会役員降板事件

同窓会活動を開始して19年目の昭和50年、当時国分支部長の片腕として会の運営を支えていたところ、同窓会を私物化、会計事務が杜撰などの理由により、総会で緊急動議が出され支部長ととも役員を下された。

●同窓会内部での意見の違い、確執

サリーマン社会では当たり前のことであるが、同窓会でも然り、本人の激しい気性もあり先輩と対立、途中で同窓会から一切身を引くと思

った。

●当時動いていた会社の電話やFAXを同窓会活動で使用、降職、配置換え

「君は同窓会の仕事だけやっておれよ」と言われ、部下をばすられ新規顧客開拓営業に配置換えとなった。

お二人ともいまや故人となられましたが、改めて感謝御礼申し上げます。(台掌)

4. 会報の発行

会報第1号が会報「黎明」として発行されたのは昭和63年(1988年)、その時の発行人が第5代会長の中馬三郎氏となつていますので、おそらく会報発行の発起人並びに会報「黎明」の命名者は中馬氏と推測されます。以来、1回も欠号となることなく現在まで続いているので今号で第35号となります。

同じく4面構成でしたが、会員名簿や名簿広告の掲載が中心で、とても会報と呼べるような代物ではありませんでした。第2号から早くも現在の会報の原型が完成しております。

私事でありますが、私はこの第2号に「同窓会に思う」と題して寄稿しており、それによって2022年ほど前から幹事に誘われて・・・と書いてあるので、私が幹事として同窓会活動に初めて参画したのは昭和63年ということになります。

その後も私が広報部長として会報発行を担当したのは第3号からですが、なぜか本号だけが手元にありません。ただ当時幹事になったばかりの私宛、当時の定例会長から「広報部長を引き受けてくれないか」と丁重なお手紙をもらったことを今でも鮮明に記憶しております。

以来、第9号まで7年間広報部長の任にありましたが、その後も現在まで編集・企画・校正まで何かしら関与しております。

2. 紙面構成

会報は基本4面構成ですが、現在1面は、会長はじめ本部会長、学校長の挨拶、「同窓の集い」案内、2面は講演録(次項参照)並びに本部総会参加報告、3面は会員からの投稿、4面は、レクリエーション報告、「同窓の集い」開催報告、賛助会員の紹介、同窓会活動報告等を基本構成としております。

以上、3面を除いては殆どが定型的なものであり、原稿集めに特段苦勞することはありませんが、3面については何をテーマにするか毎年苦勞します。特に会員からの投稿原稿を掲載する場合、原稿依頼、原稿集めなどの苦勞は計り知れませんが、会報発行当初は、投稿原稿が中心だったもので、前述の私が広報部長の時は毎年頭痛の種でした。そのようなこともあり、最近では当方からの発信記事が中心となっておりまして。第26号から6回にわたって紹介した「ふるさとシリーズ」もその一環で記憶に新しいことと思います。

余談ですが、従前講演を依頼からですが、なぜか本号だけが手元にありません。ただ当時幹事になったばかりの私宛、当時の定例会長から「広報部長を引き受けてくれないか」と丁重なお手紙をもらったことを今でも鮮明に記憶しております。

以来、第9号まで7年間広報部長の任にありましたが、その後も現在まで編集・企画・校正まで何かしら関与しております。

※酒井綱一郎氏(高8期)は、現在でも毎週朝7時からのTBSラジオ「森本毅郎・スタンバイ」で火曜日のレギュラーコメンテーターを務めておられます。出勤途上には是非聴いてみて下さい。

3. 編集・ネットワーク技術の進歩

会報発行当初の紙面づくりは、個々の原稿の字数を数え、どこにどのように配置するかまで細かく指示していましたが、現在では字数も文書作成ソフトで自動的に算出され、また文字フォント(大きさや列幅調整等)によりいかようにでもレイアウトができるので、当時に比べ格段の技術進歩、大幅な編集時間短縮となっております。また原稿の入稿、校正作業等もすべてインターネットメールで行っており、直接印刷会社に向くこともなくなりました。

4. その他

会報発行で忘れてならないのは、長年にわたって広報部長を務めた大迫一豊(高30期)氏でありまして。氏は印刷会社に勤めていたことから、第3号以降会報の編集・印刷は勤務先である「共立速記印刷(株)」で行っています。勿論何かと便宜を図ってもらった

ことはいまでもありません。然しながら2年前会社退職を機に地元鹿児島に引き上げ、その後を心配しましたが久保正和(高33期)氏が後任の広報部長として立派に後を引き継いでくれ安堵しております。

5. 同窓会名簿の発行

本件については、過去2回製本として発行しておりますが、個人情報保護法の制定等を機に、平成17年に発行したのを最後にその後発行していません。そのため平成25年に今後発行しない旨、会則の一部改訂を行っております。ご理解下さい。

6. 講演会の開催

講演会を初めて開催したのは、平成8年(1996年)第5代中馬会長の呼びかけで、久保園晃(旧中2期)氏に依頼したことに始まりまして。以降、基本的に毎年開催しております。現在まで25名の方が講師を務めておられます。講師は各界で活躍されている関東地区在住の会員を原則としておりますが、テーマによって例外的に部外者の方にお願ひしたこともあります。

講師の殆どは男性、女性は平成30年の越口千代子(高19期)氏ただ一人。最年少の講師は令和元年の川口陽氏(高60期)です。従って今後は、女性や若年層の方の積極的な応募を期待します。また、講演内容には、翌年度の2面に掲載して会員の皆様を紹介しております。

なお、関東地区での開催を機に、その後本部総会でも講演

会の開催が開かれるようになっております。その際、講師は当番期の中から選出することが通例となっております。

7. レクリエーションの開催

「同窓の集い」とは別に、会員相互の親睦並びに若手会員の発掘を目的として、平成17年以降、レクリエーション活動を開始。現在以下のような活動を行っております。

●親睦ゴルフ会(10月第1木曜日)

●バーベキュー(7、8月)

●ボウリング大会(12月)

●花見(3月)

その他、過去には「高尾山ハイキング」「屋形船ランチクルーズ」「浅草花やしきツアー」を企画したことがあります。

ただ、現在は当初の目論見とは異なり参加者が少なくなっているのも事実です。会員の皆様の積極的な参加を切に希望します。

8. 「渋谷おはら祭り」への参加

平成23年一部女性会員から参加したい旨要請があり、当地区同窓会でも全面的支援を約束、当初「伊集院高校関東地区同窓会」として参加しようとしたが、参加希望メンバーの中に他校出身者もいたこともあり、「日置地区連」を結成参加することになりました。そして翌年の平成24年地元日置市からの参加者を含めて初参加。以降事情により参加できなかった2回とコロナ禍の3年を除いて過去6回参加しております。

特に、令和元年6回目の参加では、地元日置市からゆる

かなのひお吉くんと言置PR武将隊の方々で鎧姿で参加、初めて「スマイルビューティ賞」を受賞、大変盛り上がりました。

また、現在の連長は、米盛紀子(高58期)氏が務めています。

なお、本年度は3年ぶりの参加となりますが、地元からの参加者を含めて過去最高の50名規模の参加が予定されております。

9. 地元特産品の販売

地元特産品の販売は、当初は一般の業者がたまに出店しておりましたが、平成13年(2001年)以降会場の一角で同窓会主導による販売を開始しております。品目は、「さつま揚げ」「あくまき」「かるかん」「湯之元煎餅」「伊集院饅頭」等であり、いずれも地元業者から直接購入、大変好評となっております。

最後に、伊高関東同窓会の歩みを当初から語れる人は、今や誰もいなくなりました。本稿は、別表「伊高関東同窓会の歩み」、前述した豊島鐵山氏の回顧録や現在までの会報「黎明」の記事を元で作成したもので、一部正確性を欠く記述があるかもしれませんが、その時はご容赦願います。

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

講演者プロフィール

同窓生インタビュー

同窓生インタビュー企画第2回目。起業されている3名の方に、事業を起したきっかけなどを聞かせていただきました。皆さん、コロナで大きな影響を受けながらも、明るく前向きにお話される姿が印象的でした。

■蛭川（旧姓樋口）恵美子 （高36期 市来町出身）



10年前から「美人養成塾」を運営し、これまでに1500人の方のメイクレッスンやファッションアドバイス、お買い物同行など美のお手伝いをされている蛭川さん。Instagramのフォロワーは1万人超。女性起業家を集めたランチ会を定期的に開催するなどアグレッシブに活動されています。

●初めまして。ホームページでは拝見しておりましたが、なんか敷居が高い感じがして緊張します。

●お客様からも敷居が高いと思われるようで（笑）。ホームページを3年間ずっと見て気になってたけど、なかなか申込ボタンを押しづらかったと言われる方もいます。

●会うと印象が全然違いますね。鹿児島弁です（笑）

●お客様も「会ってみると気さく」と皆さんおっしゃってくださいます。

●美人養成塾を始められたきっかけは何だったんでしょう？

自分がある時期にまったく何もやる気がしなくなりました。28才のとき、初産で長女を死産しました。当時杜宅に住んでいて、出産のために鹿児島に帰っていた私が1人で千葉に帰ってくることになり、周りの人たちはみんな私に何と声をかけていいかわからない様子でずっと気を遣ってくれたのですが、私は数か月間何もやる気が起きず、ずっと部屋にこもってました。ある日、見かねた友人が半ば強引に私を外に連れ出してくれたとき、久しぶりに口紅を塗ったところ気分が変わったんですね。あ、ちょっと魅せるだけってこんなに気分が違ふものなんだと。そこから少しずつ自分を取り戻していききました。この体験がきっかけになってると思います。

●起業してどんなことが大変でしたか？

集客ですね。SNSを活用していますが、マーケティングを学んだわけでもないのに、地道にコツコツお客様の声に耳を傾けて、期待以上のものをお返しできるようにやってきました。

●今までのくらいのお客様と接して来られたのですか？

1500人くらいです。年齢層は50代の方が多くですが、20代から70代まで幅広いんですね。若い人は婚活のために綺麗に魅せたいと言って来られる方もいらっしゃいます。

●HPには5才若くなるって書いてありましたが。

10も20も若くなるわけではないですがね（笑）。魅せ方を変えるだけで見た目の印象が全く変わります。若作りではなく若返りです（笑）



●モデルもやってらっしゃるんですね？

NHKの番組に出演する機会があり、プロデューサーの方の目に留まったようで、いろんなチャンスをもたらしたようになりまして。美STという雑誌にたまに読者モデルとして出ています。

●高校時代からだいぶモデルたのでは？

そんなことはまったくないです（笑）。高校時代は自分でバリエーションを張っていた人が近寄りたがたい雰囲気を出してたと思います。数年前、同期会に来ていたんだ、当時担任の森園先生から「お前は職員室で『鉄仮面樋口』と呼ばれていたぞ」と言われたくらいです（笑）。

■山口恭平 （高58期 伊集院町出身）

東武東上線の下赤塚で居酒屋「鳥頂点」（うちようてん）を経営する山口さん。怪我で野球の道を断念し、飲食の道に進むことを決意して14年前に上京。常に前向きでブレない信念を持ち、若手の起業家仲間からも大変慕われてらっしゃいます。

に進むことを決意して14年前に上京。常に前向きでブレない信念を持ち、若手の起業家仲間からも大変慕われてらっしゃいます。



●ずっと野球をされてたんですよね？ポジションはどこだったんですか？

小学校から市内のリトルリーグに入っで、高校ではピッチャーとショートをやっていました。

●山口さんの時代の野球部は強かったんですか？

1個上の先輩たちとは九州大会に行きました。何年ぶりだったと思います。私たちは秋の県大会ベスト4で鹿児島工業に1点差で負け、あと一步のところで九州大会を逃しました。そのときの鹿工のピッチャーが、プロに行った樓下投手でした。

●野球はいつまで続けられたんですか？

大分に九州総合スポーツカレッジという専門学校があり、野球で身を立ていくことを目指してたのですが、20才のときに怪我をして野球を続けることを断念しました。いい意味で見切りをつけれましたね。

●野球をあきらめた後、どうされたのですか？

専門学校からコーチ兼職員の話をいただき、野球には携わって行けると思ってお受けしたんですが、学校側の都合で話がなかったことになり。その代わり、1年間学校の寮に住まわせてもらい、食堂でアルバイトをしていたんです。もともと料理は家で手伝いをしたりして好きだったのですが、食堂で料理長から野菜の切り方から教わり、いろんなメニューも覚え、飲食の道に進もうと決意しました。そこがまさに人生のターニングポイントでした。

●東京には就職が決まってから上京されたんですか？

東京に出てきてから探しました。飲食に携わるプランは持ってたので、ネットで調べた居酒屋に直接食べに行き、いい

なと思ったところに就職しました。幡ヶ谷にあるもち焼き屋で、店長として、料理、仕込み、接客を学びました。

●そこからずっと飲食店を？

いえ、4年半勤めた後、飲食以外の世界を見てみたいと思い、1度飲食から離れたんです。メンズネイルが流行り出した頃で、唇は土方や解体屋の仕事をしながら、ネイルの専門学校に通う生活を1年くらいやってました。そういった経験を経て、また飲食の道に戻ることを決めました。

●独立の経緯を教えてくださいませんか？

勤めていた会社のFCライセンス独立支援制度第1号で、4年前にこの店（鳥頂点）をオープンしました。資金はすべて自己調達でした。2年前に法人化し、起業家としてはまだ2才で、妻と一緒に手探りでやっています。

●奥様と一緒にやられてるんですね。一日中一緒にけんかとかはしないですか？

結婚5年目ですが、けんかはしたことがありません。だから一緒にお店を始められたんだと思います。

●これまでの人生で一番つまらなかったことはいつですか？

独立1年目ですね。オープンして1年経たずにコロナ禍となり、結構つまりました。社員も雇用しており、給料は支払わないといけませんし。何とか乗り切り、客足も少しずつ戻ってきました。

●それにしてもこの店は居心地がいいですね。昭和の雰囲気満載です。

お客様の年齢層が比較的高めで40・60代の方が多く、いつも80年代の有線流しています。モーニング娘だちょっと違いますよね（笑）



●ところで、もう野球はやらないんですか？

野球はもうやりません。お客様から誘われることはありますが、ゴルフでしたら、とお答えしています。ゴルフなら妻と一緒にできますし、ゴルフを通じて仕事につながることもあります。

●ゴルフはどのくらいで回られるんですか？

ベストは82ですが、平均90くらいです

かね。迷惑をかけないくらいの感じです。●将来の展望を聞かせていただけますか？

飲食は好きなのでこの店は続けていきたいと思いますが、飲食以外も視野に入れています。飲食をツールにして他業種とのビジネスマッチングを考えています。いろんな業種の起業家の方と付き合いしながら、常にアンテナを張ってます。

●ずっとブレずにやってこれたんですね。

これまでずっとやりたいことしかやってきてないので、後悔とかはまったくしたことがないんです。悩んだ時期も一切ないんですよ。超ポジティブ人間です。今、たった1店舗ですが、人に話しても分からない苦労も、経験できているだけで幸せだと思っています。

■横山桂子 （高28期 吹上町永吉出身）



●生活は大変だったのではないのでしょうか？

極貧でした。幼稚園は1年で退職。事務所に所属していましたが、たまにテレビの仕事だけでは食べていけないので、夜は飲食店でアルバイト。最初は賄い付きの秋田料理のお店でした。家賃1万5千円のアパートは、6畳一間、トイレは共同で、お風呂はなく、銭湯に毎日通うお金もなく、お風呂は1日おき。当時から実家に仕送りしていて、月に1回、給料日に食べるコロッケ定食が唯一の馳走でした。見かねたお店のお客様が、ある日飲みに誘って下さり、taxi代の封筒を。家に帰ってびっくり!!3万円も入っており、お釣りを持って行く、「今日は毎日銭湯行きなさい」と大笑いされました。いい思い出です。

●銀座でお店を独立したのはいつですか？

37才のときです。テレビの仕事をもらいながら、今と同じ業態のお店で働いていたとき、お客様方に背中を押して貰い、当時の国民生活金融公庫からの借金800万円と、貯金全額使って並木通りにお店を出しました。当時既にパブルははじけて出せないけど、応援する（笑）

●お金の出せないけど、応援する（笑）

「とお店に通って下さいました。ずっといろんな方々に支えられて、今までやってこれました。

●その後お店のほうは順調だったのでしょうか？

いえ、しばらくして1階下のお店が火事になり、私の店も被害を受けて全部ダメになりました。保険はかけてたのですが、いろいろなあって被害額を賄える保険金ももらえず、また借金が増えることになりました。

●そのときがこれまで一番大変なときでしたか？

肉体的には一番しんどかったときです。当時、愛川欽也さんの劇団キンキン塾の創設メンバーの一人で、4月に三越劇場での公演を控えていたのですが、火事被害を受けたのが1月で、3月には今の場所にお店を再オープンさせ、そこから稽古に参加し、何とか4月公演に間に合いました。10日間7時間しか寝ないことあり、とてもしんどかったですね。その後も東北震災の影響もあったりで、ほんとに谷あり谷ありですね。

●今後の目標とかがありますか？

お店は大変な状況が続いてますが、まずは、10月の舞台を頑張りたいと思います。丁度今日オフアールがありました。コロナ禍で中止されていた公演で、今年も確実に開催されるかどうかはまだ分かりませんが、10月5日・8日に文京区の文化シャッターホールで開催予定です。今回初めて70代の役を演じます。

●ところで千葉真一さんとは会えたのでしょうか？

お仕事の共演はありませんでしたが、お会いすることはできて、このお店にも来ていただきました。そのときに、一度是非、共演したいねと言って下さいました。..が、いくなれば、悲しく、寂しく、とても残念です。

◆2019年4月、沢山の会社、多くの方々からの協賛と応援を頂戴し、地元に残っている友人、知人は勿論、北は東北、南は沖縄そして東京他、いろんな地域から応援に駆けつけて頂き、地元鹿児島で一人芝居と歌による、300人以上の満席にてコンサートをさせて頂きました。凱旋公演という形で地元で出来た事は私の心の大きな支えになっており、心より皆様感謝申し上げるばかりです。有難うございました。今後も皆様に喜んで頂ける様な活動と店づくり出来たらと思っております。宜しくお願い致します。

（一）横山（秋篠）桂子
お店 中央銀座座8・7・1
住所 三恵ビル3F
電話 03・3572・6377

第44回

関東地区「同窓の集い」
— 報告記 —



第44回関東地区「同窓の集い」は、令和4年6月18日(土)中野サンプラザにて会員38名の参加のもと行われました。新型コロナウイルスの影響で2年連続中止を余儀なくされていましたが、ワクチン接種がある程度進み、且つWithコロナに向けていこうという世の中の機運にも押され強行させていただきました。但し来賓の方には出席戴かず、また講演会、郷土の物産販売も中止するなど規模を縮小しての開催となりました。会場ではアクリル板を設置した円卓に着席し

ていただき、飲食時以外はマスクの着用をお願いするなどの感染症対策をお願いしました。東福会長からは3年ぶりに開催できた喜びと、感染リスクが残る中出席いただいた会員

の方々への感謝の言葉がありました。続いて各役員より活動報告、会計報告が行われ承認されました。懇親会では、着席での会食のためできる範囲での席の移動になっ

たものの、あらこちらで再会を喜び合う輪ができていました。今回も焼酎メーカーから飲み物を提供いただき、郷土の焼酎が「さしかぶい」の鹿児島弁での語り合いに役買っているようでした。

最後に、まだまだ話し尽きぬ中、お互い健康で次回再会できることを誓い、恒例の新旧校歌斉唱、万歳三唱を経て散会しました。

令和5年2月4日 幹事会 令和5年度運営方針他 東福会長以下11名 3月上旬 賛助会員へのお礼状発送 中村 会計部長



たものの、あらこちらで再会を喜び合う輪ができていました。今回も焼酎メーカーから飲み物を提供いただき、郷土の焼酎が「さしかぶい」の鹿児島弁での語り合いに役買っているようでした。

令和4年4月 会報「黎明」(第34号)編集作業 久保広報部長他 5月14日 令和4年度「同窓の集い」案内状&会報発送作業 久保広報部長以下10名 6月18日 第44回「同窓の集い」中野サンプラザ 38名出席 10月6日 第15回親睦ゴルフ会(野田市パブリックゴルフ場) 中村 会計部長

3年ぶりにマスクを外して生活できるようになり、公私において各種イベントも復活しつつありますが、コロナをきっかけに人々の仕事や生活の様式は変化し、「コロナ前に戻る」という概念はないのかもしれない。今回は、世の中の変化に特に直面されている起業家の方々にインタビューでお話を伺いましたが、軸をしっかり持ちながら、変化を受け入れ、前向きに頑張っておられる姿に、薩摩単人、薩摩おごじょの逞しさを感じました。私自身も、自分のできることを一つ一つ前を向いて取り組んでいきたいと思っています。(久保)

令和4年度活動報告

編集後記

同窓会レクリエーション

親睦ゴルフ大会

第15回同窓会ゴルフ大会を令和4年10月6日(木)野田市パブリックゴルフ場けやきコースに於いて開催しました。



当日はあいにくの雨模様で肌寒い天気となりましたが、高9期から39期までの11名が参加し3年ぶりの親睦ゴルフを満喫、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。今回の入賞者は下記の通りです。

優勝 松下六男 (高19期)
準優勝 石井良二 (高20期)
三位 久留真治 (高39期)



10月5日(木)に昨年と同じ野田市パブリックゴルフ場(けやきコース)で開催予定です。なお今年からは幹事を野添幸男(高21期、携帯 090-4349-5287)が担当します。

賛助会員のご紹介

令和4年度も同窓会の活動・運営のために、97名の皆様から多額の寄付を戴きました。誌面を拝借して厚く御礼申し上げます。(賛助会員太字は1万円以上の寄付者、()は旧姓)

卒業年度	賛助会員名	卒業年度	賛助会員名	卒業年度	賛助会員名
高校2期	馬渡澄雄	高校14期	穂満正男	高校22期	大迫(清藤)由美子
高校3期	酒匂寿郎	高校16期	牧元信幸	高校30期	早崎睦朗
高校4期	藤田尚弘	高校18期	野間口光典	高校31期	西園成人
高校5期	川元英明	高校7期	加藤吉永睦子	高校32期	谷口修之
高校6期	小野原勝男	高校8期	田丸菊夫	高校34期	今別府 修
	出口重遠	高校9期	水越(上)醉尾弘子	高校35期	田代集朗(後朗)
	千田哲生	高校10期	宇都隆文	高校36期	坂口義彦
	若山照男	高校11期	山下佐明	高校38期	三石小百合
	馬場一夫	高校12期	飯牟禮蔵	高校39期	久保正和
	池田 徹	高校13期	唐木沢(森岡)啓子	高校44期	中村敏也
	鎌田政継		中濁イッ子	高校49期	東福里沙
	溝口英文		新村昭則	高校51期	甲斐久保 奈津美
	飯屋武二		橋野(田丸)桐子	高校53期	松野下和彦
	鮫島 勉				
	松下兼偉				

宮下(末吉)勉
久保香一郎
酒井綱一郎
横山桂子
馬込(中野)秀美
上野尾淳一
犬童道治
早崎睦朗
大迫一豊
赤崎 修
東福谷口(みゆき)
今別府 修
田代集朗(後朗)
坂口義彦
三石小百合
久保正和
中村敏也
東福里沙
甲斐久保 奈津美
松野下和彦